

TG fast-PAGE mini 取扱説明書



TG fast-PAGE mini は泳動時間が約35分と高速で、使用期限は8~10ヶ月と長期保存可能なポリアクリルアミドゲルです。Tris-Glycine SDS 泳動バッファーを使用して SDS-PAGE (変性 PAGE) を実施することができ、SDS を含まない Tris-Glycine Native 泳動バッファーを使用すると Native-PAGE (非変性 PAGE) を実施することができます。

1. ゲルの仕様

担体 ポリアクリルアミド

ウェルの形状と最大サンプル添加量

ゲル濃度

アイソクラティック 8%, 10%, 12%, 14%
グラジェント 8-16%, 4-20%, 10-20%

1mm 厚 8 well : 33 µl 10 well : 25 µl
12 well : 15 µl 15 well : 10 µl
2-D well: 300 µl
1.5mm 厚 10 well : 33 µl 15 well : 15 µl

ゲルのサイズ 8×8 cm

泳動バッファー (SDS-PAGE)

Tris-Glycine SDS 泳動バッファー

ゲルの厚さ 1.0 mm, 1.5 mm

保存温度と使用期限

冷蔵 (4°C), 凍結厳禁

ゲルカセットのサイズ 10×10 cm

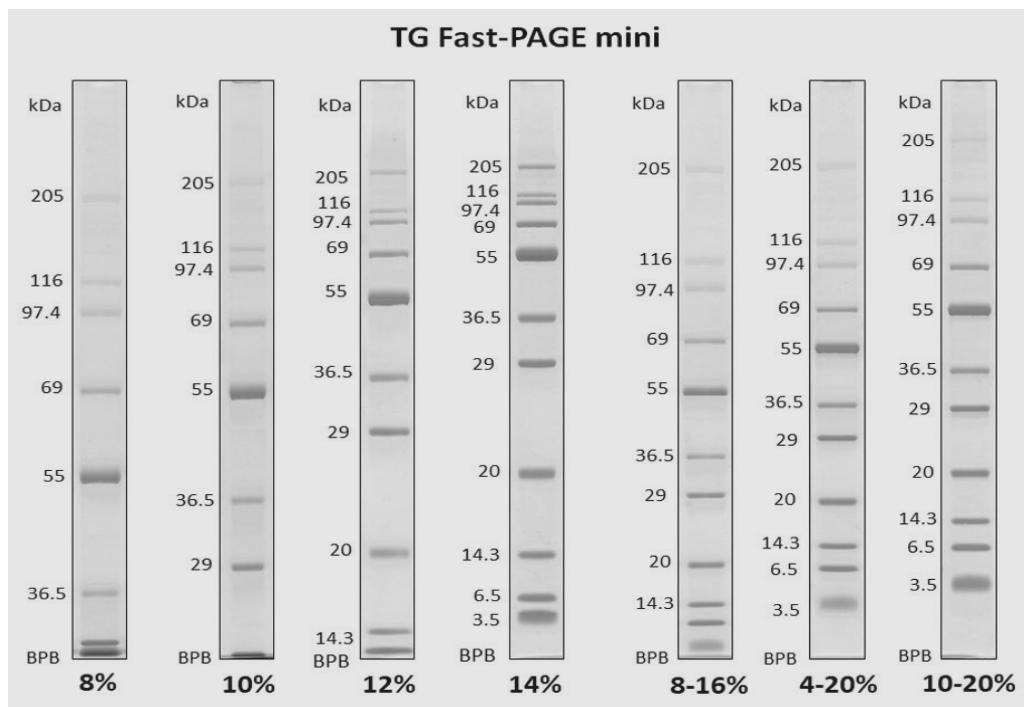
8%, 10%, 12%, 8-16% : 製造後 10 カ月

泳動装置 セイフティー・セルミニ STC-808

14%, 4-20%, 10-20% : 製造後 8 カ月

2. 分離パターン

SDS-PAGE (変性 PAGE)



3. SDS-PAGE (変性 PAGE) の泳動方法

使用する電気泳動装置

Cat. No. 03-101, セイフティー・セルミニ STC-808

使用するバッファー

Cat. No. 06-361 Tris-Glycine SDS バッファーキット

Cat. No. 06-363, Tris-Glycine SDS サンプルバッファー (2×), 20ml, 1本 冷蔵 4°C保存

Cat. No. 06-364, Tris-Glycine SDS 泳動バッファー (10×), 500ml, 1本 室温保存

プロトコール

- Tris-Glycine SDS サンプルバッファーには還元剤が含まれていません。還元条件で泳動する場合は、5 mlの Tris-Glycine SDSサンプルバッファー (2×) 注-1、に対して 0.25 mlの2-メルカプトエタノール、または 0.1 gのジチオトレイトールを加えてから次の試料溶液を調製してください。還元剤入りサンプルバッファーは使用時に新しく調製してください。

注-1 : Tris-Glycine SDS サンプルバッファーは加熱 (30~40°C) して完全に溶解して使用してください。

- 試料と Tris-Glycine SDS サンプルバッファー (2×)を (1 : 1) の割合で混合し、95°Cで 5分間加熱して試料溶液を調製します。
- 50ml のTris-Glycine SDS 泳動バッファー (10×) に450mlの純水を加えて混合します。泳動装置の上部バッファー槽 (-極、内側) および下部バッファー槽 (+極、外側) にそれぞれ適量の Tris-Glycine SDS泳動バッファー (1×)を注入します。上部バッファーはゲルカセットのウェル上端より 3~4 mm上の位置まで注入します。TEFCO セイフティー・セルミニ, STC-808の場合、上部バッファー槽に約 200 ml、下部バッファー槽に約 300 mlを使用します。
- ウェルに試料溶液を添加します。タンパク質の負荷量はクマシーブルー染色を行う場合、通常 1バンド当たり 0.1 - 0.5 µg が適量です。
- 下記の泳動条件に従って泳動を行います。

電 壓	：	230V 定電圧
予想電流	：	開始時 約50 mA (1mm厚ゲル) 終了時 約20 mA
泳動時間	：	約35 分

注意) 電圧は使用するゲルの厚さ、枚数に関わらず230Vに設定します。

- プロモフェノールブルー (BPB) がゲル下端付近まで移動したら電源を切り、泳動を終了します。
- 泳動終了後、ゲルをカセットから取り出し、必要に応じて、固定、染色、プロッティング等の操作を行います。

バッファー組成 (SDS-PAGE)

Tris-Glycine SDS サンプルバッファー (1×)		Tris-Glycine SDS 泳動バッファー (1×)	
Tris-HCl, pH6.8	63 mM	Tris base	25 mM
Glycerol	10 %	Glycine	192 mM
SDS	2 %	SDS	0.1 %
BPB	0.0025 %		

4. Native PAGE (非変性 PAGE) の泳動方法

使用する電気泳動装置

Cat. No. 03-101, セイフティー・セルミニ STC-808

使用するバッファー

Tris-Glycine Native サンプルバッファー (2×) 冷蔵 4°C保存

Tris-Glycine Native 泳動バッファー (10×) 室温保存

下記に記載のバッファー組成に従って調製してください。

- 試料と Tris-Glycine Native サンプルバッファー (2×)を (1 : 1) の割合で混合します。 加熱しないでください。
- Tris-Glycine Native 泳動バッファー (10×)を純水で 10倍に希釈し、Tris-Glycine Native 泳動バッファー (1×)を調製します。 泳動装置の上部バッファー槽 (-極、内側) および下部バッファー槽 (+極、外側) にそれぞれ適量の Tris-Glycine Native 泳動バッファー (1×)を注入します。 上部バッファーはゲルカセットのウエル上端より 3~4 mm上の位置まで注入します。 TEFCO セイフティー・セルミニ, STC-808の場合、上部バッファー槽に約 200 ml、下部バッファー槽に約 300 ml を使用します。
- ウエルに試料溶液を添加します。
- 下記の泳動条件に従って泳動を行います。

電 壓 : 230V 定電圧
予想電流 : 開始時 : 約50 mA
(1mm厚1枚) 終了時 : 約20 mA
泳動時間 : 約35 分

注意：電圧は使用するゲルの厚さ、枚数に関わらず230Vに設定します。

- プロモフェノールブルー (BPB) がゲル下端付近まで移動したら電源を切り、泳動を終了します。
- 泳動終了後、ゲルをカセットから取り出し、必要に応じて、固定、染色、プロッティング等の操作を行います。

バッファー組成 (Native-PAGE)

Tris-Glycine Native サンプルバッファー (1×)	Tris-Glycine Native 泳動バッファー (1×)
Tris-HCl, pH6.8	63 mM
Glycerol	25 mM
Bromophenol blue	10%
	192 mM
	0.0025%

テフコ株式会社
〒192-0361
東京都八王子市越野 5-5
TEL 042-676-3513
FAX 042-676-9150
<http://www.tef.co.jp>